

当院において乳がん脈絡膜転移の治療を受けられた方

およびそのご家族の方へ

「脈絡膜転移をきたした乳がんの原発病理組織の特徴を調べる後ろ向き観察研究」

ご協力をお願い

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 生体機能再生再建医学分野
教授 松尾 俊彦

1) 研究の背景および目的

乳がんの脈絡膜転移はまれです。もし脈絡膜転移をきたした場合は、すでに脳転移も存在し、生命予後は不良とされています。私は 1987 年から 2023 年の間に 5 人の乳がん脈絡膜転移をきたした方の診療を担当しました。この研究は、脈絡膜転移をきたした乳がんの元々の病巣の病理診断の所見にはなにか特徴はあるかどうかを調査することが目的です。結果をまとめて、2025 年 10 月開催予定の日本臨床眼科学会で報告することを計画しています。本研究には企業からの資金提供はなく、特許権を含めて経済的利益を生み出すこともありません。

2) 研究対象者

1987 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に岡山大学病院眼科において松尾俊彦が担当医として診療した乳がん脈絡膜転移の方であって 20 歳以上の方、5 名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2026 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

1987 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に当院において松尾俊彦が担当医として診察した乳がん脈絡膜転移をきたした方で、研究者が診療情報をもとに病理結果、放射線画像診断結果、眼科検査結果のデータを選び、病理所見の特徴を調査します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用しますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名
- ・ PET/CT、MRI 画像検査、治療、経過観察期間、眼科検査結果（眼底所見を含む）、病理診断結果

6) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学の生体機能再生再建医学分野研究室で保存します。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究資金と利益相反

この研究は研究責任者が管理する運営費交付金を用いて行います。この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 眼科 医師

氏名：松尾俊彦

電話：086-235-7952（平日：9 時～17 時）眼科外来

ファックス：086-235-7952

E メール：matsuot@cc.okayama-u.ac.jp